



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：

担当者の所属・氏名

心臓血管外科 阿部 恒平

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 心臓血管外科 阿部 恒平

### **【研究代表者】**

東京慈恵会医科大学 心臓血管外科講座 國原 孝

# 虚血性僧帽弁閉鎖不全症の手術に対する研究

## 1.研究の対象

2015年1月～2019年12月に当院で重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して僧帽弁形成術もしくは僧帽弁置換術を受けられたかたを対象とします。

## 2.研究の目的・方法

現在、重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症の治療において、ご自分の弁組織を温存する弁形成術もしくは弁を温存しない弁置換術のどちらが患者様の予後をより良くするのかは不明であります。今回日本の多施設データをもちいて成績を調査することで、日本人においてはどちらの治療法がより良いのかを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年3月11日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 手術前後の情報、手術記録、退院後の状態・様子

## 4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5.研究組織

研究代表者：東京慈恵会医科大学 國原 孝  
参加病院 124 機関